

第7回例会

共助の担い手となれ!

～支え合いとビッグデータで地域課題に挑む～



第1部 講演

一般社団法人MAKOTO
代表理事

竹井智宏氏

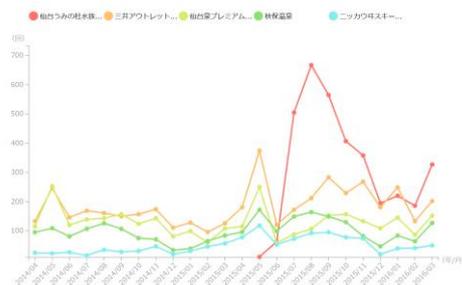
2017 7/6 木

開演 **18:30** / 開場 **18:00**
エル・パーク仙台 6階 ギャラリーホール
仙台市青葉区一番町4丁目11番1号141ビル

第2部 ワークショップ

～ビッグデータを活用した地域課題の顕在化～

【協力】 経済産業省
東北経済産業局



第1部 講演

講師紹介



一般社団法人MAKOTO 代表理事 竹井 智宏 氏

<プロフィール>

1974年生まれ。東北大学生命科学研究科博士課程卒。2011年7月一般社団法人MAKOTOを設立し、被災地の起業家・経営者の支援を開始。

2015年8月丸森町からの委託を受け起業サポートセンターCULASTA(クラスタ)を開設し、若者世代の就業機会を確保し人口流出を防ぐため、起業希望者を対象に、事業プランや収支計画、専門家紹介などをワンストップでアドバイスする事業を展開している。同年、日本ベンチャーキャピタル協会より「地方創生賞」を受賞。東北大学特任准教授(客員)。

<講演内容>

講師が丸森町と連携して展開しているCULASTA(クラスタ)における起業支援事業は、地域・行政・企業など多様な人々が繋がり、それぞれが持っている情報・知識・アイデアを取り入れ、その効果を最大化させて地域の課題解決に繋がっています。この支援事業の実例と地域の新しい価値を創造することで成し遂げる地域創生事業のあり方をお話いただくことで、多様なネットワークによる連携を構築し、互いに支え合い、共に課題を解決していく共助の精神の重要性を認識する機会といたします。

第2部 ワークショップ

～ビッグデータを活用した地域課題の顕在化～

今回の例会でビッグデータの使い方を体得できる！

RESASとは？

誰でも
利用できる！

RESAS（リーサス、地域経済分析システム）は、内閣府（まち・ひと・しごと創生本部）が運用し、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステムです。（QRコード参照）



本例会では、

RESASを実際に活用して地域の課題を発見するワークショップを行います。

ワークショップを通じて、十分な調査研究により地域を深く理解し、地域課題を顕在化するとともに、新たな仙台の可能性を見出し、的確な解決手法を選択し実行する資質を向上させる機会といたします。

地域の現状を
知る！

また、RESASは、JCの事業構築に活用することができるのはもちろんのこと、客観的なデータに基づきしかも視覚的にわかりやすいプレゼン資料の作成やマーケティングのための地域分析にも活用することができます。

仕事にも
活かせる！

※本例会では、パソコンを使用しますので、Google Chromeをダウンロードのうえ、パソコンをお持ちください。